

日時：平成 31 年 3 月 28 日（木）

午前 10 時から正午

会場：大阪市役所屋上階 P 1 共通会議室

【 議題 1 2019 年度大阪市障がい者等基礎調査について 】

- ・ 2019 年度に障がい者等基礎調査を実施するので、4 月以降にワーキングを立ち上げて調査内容等を検討します。

【 議題 2 第 5 期障がい福祉計画・第 1 期障がい児福祉計画の実施状況について 】

- ・ 2017 年度末までの実績と現行計画の数値、2018 年度の上半期までの実績値について報告。
- ・ 障がい児の支援のあり方について、「大阪市医療的ケア児の支援に関する検討会議」を設置して、検討していきます。

《 資料 2 「第 5 期障がい福祉計画・第 1 期障がい児福祉計画の実施状況（上半期）について」ご意見 》

- ・ 居宅訪問型の児童発達支援の実施状況が良くないですが、他市の事業所の活用事例、大阪市内の居宅訪問型の保育の進捗状況を教えてほしい。
⇒大阪市では、居宅訪問型支援事業は指定がない状況で、東大阪の事業所を利用しており、支給決定は 12 名の方が受けている。引き続き、こども青少年局の保育担当と連携しながら、検討していく。
- ・ 平成 30 年度に新設された就労定着支援が、計画とはかけ離れた数字となっていますが、どのような状況か。
⇒現在の就労移行支援事業所が就労定着支援へと移行となるが、9 月末まで移行定着の加算が経過措置として設けられている。10 月以降は、順調に定着支援の事業所は伸びている。
- ・ 地域移行支援の人数が、計画よりもかなり低くなっているが、1 年以上精神科医療機関へ入院し、寛解、院内寛解となっている方へ、大阪市からの面談は実施されているのか。
⇒基本的には、各病院で大阪府の退院ケアコーディネーターが巡回を行い、必要であれば、こころの健康センターに連絡し、訪問をしている。また、精神科病院からの退院支援については、平成 30 年度から新規の取り組みも進めている。

《 資料 3 「大阪市医療的ケア児の支援に関する検討会議について」ご意見 》

- ・ 大阪市医療的ケア児の支援に関する検討会議メンバーが、外部委員は医療関係者が多い。現場で実際に日々の支援をされている方や、相談支援事業所など現場の方々の声を聞く仕組みがないとリアルな生活の場面でのニーズと乖離してしまうのではないかという意見。

【 議題3 その他（報告事項） 】

（大阪市障がい者施策推進協議会専門部会の活動状況について）

（国における施策の検討状況について）

（障がい者グループホームの設置促進に向けた取組みについて）

（総合的な相談支援体制の充実について）

（みおつくし福祉・介護の仕事 きらめき大賞2018）

（あいサポート運動実施状況について）

《 資料4 「大阪市障がい者施策推進協議会専門部会の活動状況について」ご意見 》

- ・ 入所施設に訪問して得られた意見で、「本人の障がい状況に対応できる体制が地域において構築できていないのではないか」とあるが、入所型の施設の方が、各区の自立支援協議会にどの程度参画されているのか。参画されていたら、このような意見がでてくとは思えない。
⇒各区の実施の状況は別途把握しているので、また資料をご提供する。

《 資料6 「障がい者グループホームの設置促進に向けた取組みについて」ご意見 》

- ・ 良いものができていますが、「障がいのある方へ」というところに掲載されているので、共生とか地域関係のところにもリンクしないとったいないという意見。
- ・ 写真を入れたら良いのではという意見。